資料７－２

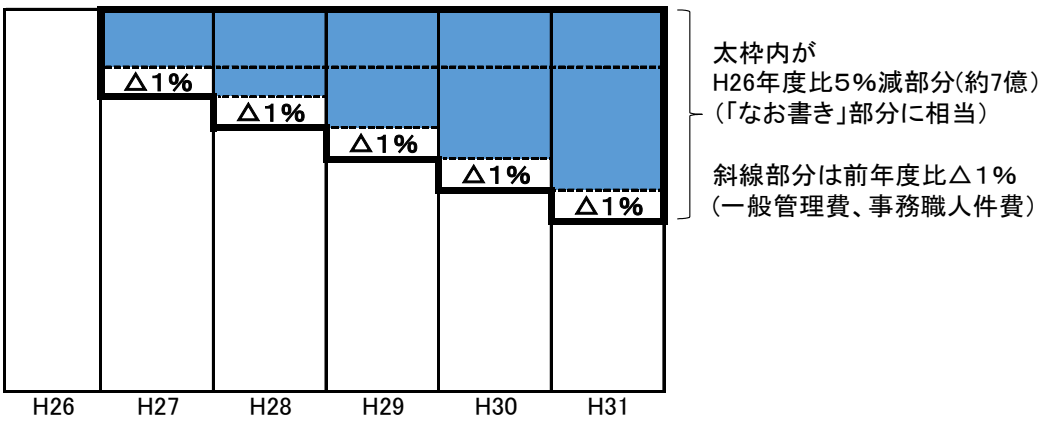
北海道立総合研究機構　第二期中期目標（素案の修正）について

２６．８．２８
総合政策部研究法人室

<table>
<tr><td>現中期目標</td><td>透明性の高い経営に努め、財務効率の改善を進める。
なお、財務運営の効率化については、次のとおり目標値を設定する。
<table><tr><th>設定内容</th><th>目標値</th></tr><tr><td>財務運営の効率化</td><td>運営費交付金を充当して行う業務は、少なくとも前年度比１％縮減</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>素案修正案</td><td>透明性の高い経営に努め、財務運営の効率化を図る。
取組を進めるに当たっては、運営費交付金を充当して行う業務に係る経費（研究関連経費を除く。）を少なくとも前年度比１％縮減する。
なお、運営費交付金については、少なくとも平成２６年度比５％縮減を計画的に行う。</td></tr>
</table>

【考え方】

○　第２期においては、引き続き財務運営の効率化を図るが、試験研究機関の根幹をなす研究関連経費（研究費、研究職員及び研究支援職員人件費）については効率化係数（△１％）の対象としない。

○　中期目標期間中の運営費交付金総額については、毎年度、４～５億円の剰余金が生じている実態に鑑み、少なくともＨ２６年度交付金額の５％相当額（約７億円）縮減を計画的に行う。

【効率化による交付金削縮減イメージ】